

STRUCTURAL SEALANT

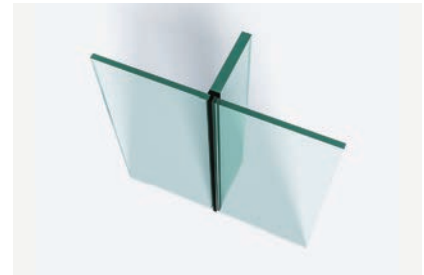
シール接着構法

よりフラットで大きな開口・支持金物の少ない透明感のあるファサードを実現する
従来の構法を組み合わせたハイブリッド構法です。



板付オフィス（福岡県福岡市）
設計：阪根宏彦計画設計事務所 様

従来のフェイスガラスとリブガラスを構造シールで接着して構成されたグラサード（旭硝子品名）や、SSG構法を元に派生した構造シールの接着強度に依存した構法です。フェイスガラスとアルミホルダー内のガラス片での接着や、テンポイントなどの支持構法を組み合わせたハイブリッドな構法です。



ガラスリブタイプ



金属マリオンタイプ（特許登録済み）

■ ガラス

ガラス製品 P.36

対応ガラス



ガラス構成

単板	FL、HS、PT+飛散防止フィルム
合わせ	FL+FL、HS+HS、PT+PT
複層	FL+A12+FL、FL (Low-E) +A12+FL、HS+A12+HS、HS (Low-E) +A12+HS

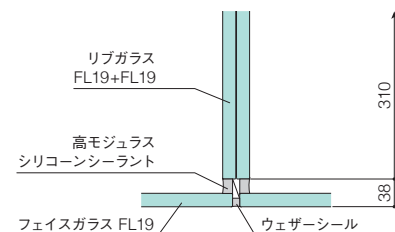
※ガラス構成は、設計条件、ガラスサイズに応じて構造計算やFEM(有限要素法)解析により決定します。

製造可能寸法

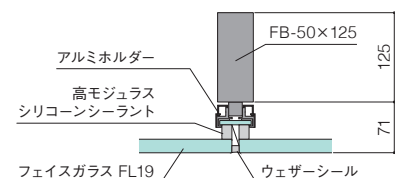
最小	100×250mm
最大	2440×6000mm

■ 納まり参考例

ガラスリブタイプ



金属マリオンタイプ



※参考図の検討条件はP=2400N/mf、GH=5000mm、GW=1500mmです。